

「 石鳥谷のゆめ・みらいを語るワークショップへの協力の取組み 」

学校名	岩手県立花巻農業高等学校
-----	--------------

1	ねらい	<p>花巻農業高校では、平成29年11月、花巻市石鳥谷総合支所地域振興課が企画した「石鳥谷のゆめ・みらいを語るワークショップ」に協力した。校地が市内石鳥谷地域に隣接していること、さらに、本校に通う生徒のうち、市立石鳥谷中学校卒業生が占める割合がトップであることを踏まえ、生徒が高校時代から地域の課題に向き合い、社会人となった際に自ら進んで地域に貢献する人材となっていくことを期待して、本校を挙げて協力することとした。</p> <p>当該ワークショップは、地域の未来の担い手たる高校生から積極的に意見を聴取し、地域コミュニティづくりのヒントを得ようというものである。具体的には、主催者側で「石鳥谷のことを考えてみよう!」、「訪れたい・暮らしたいまちにするため自分にできることは?」というテーマを立て、地域の良いところや残念なところ、また、大人になって暮らしたいと思うまちになるために、今、高校生ができること、行政が取り組まなければならないこと等について議論した。</p>
2	日時	平成29年11月29日(水) 15:50 ~ 18:00
3	場所	花巻農業高等学校 多目的ホール
4	参加者	花巻農業校生徒29名〔内訳:花巻市立石鳥谷中学校出身者43名のうち29名(1年11名,2年3名,3年15名)〕、花巻市石鳥谷総合支所8名、石鳥谷地域コミュニティ会議役員5名 合計42名
5	内容	<p>(1) 開会(ワークショップの説明・石鳥谷地域の現状説明等)</p> <p>(2) 自己紹介(アイスブレイク)</p> <p>(3) ワールドカフェ×3ラウンド</p> <p>(4) 個人ワーク,グループ共有,全体共有</p> <p>(5) 閉会(アンケート記入)</p>
6	活動	冒頭、花巻市石鳥谷支所から、「花巻市まちづくり総合計画〔H26~35〕の地区ビジョン」について説明が行われた。これを受けて支所職員及び一般市民も交えて8つのグループをつくり、自己紹介等を行ったのち、ワールドカフェ方式で意見交換を行った。セッションの具体的なテーマとして、「目指そう!にぎやかな石鳥谷」、「ショッピングモールがある町」、「家族で楽しめる娯楽施設の充実」、「老若男女問わず住みやすい町」等々、生徒が親しみやすいテーマが設定され、自由闊達な意見交換が行われた。
7	評価	<p>全参加者のうち、64%が「自分の意見を言えた」と答え、88%が「とても良かった」と評価している。生徒から出されたアイデアや意見は、斬新で建設的なものが多く、コミュニティの役員も大いに感心していた。</p> <p>今後も、地域の課題解決の為に積極的に関わるよう、学校を挙げて連携し、協力していく。</p> <p>グラフィック・レコーディング例→</p>



